

●京都府交響プロジェクト 地域説明会日程決まる

2月に開催予定の地域説明会の開催場所を予約しました。2月6日（土）八幡市四季彩館、2月7日（日）宇治市生涯学習センター、2月11日（木・祝）京田辺市中部住民センター、2月14日（土）木津川市いずみホール、2月20日（土）城陽市文化パークです。展示内容は今取り組んでいる「イタセンパラ復活」をメインテーマにして行います。

たくさんの皆さんにお越しいただきたいと思います。

●新年早々、うれしいニュースです 2名の方が入会してくださいました

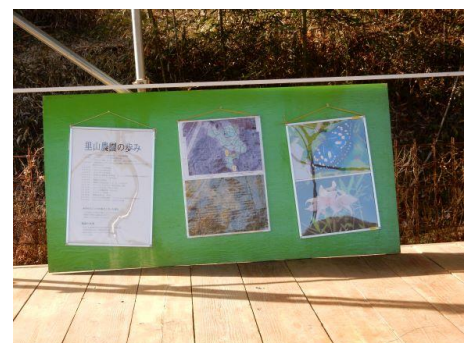
荻谷裕子さんと、藤田加奈さんです。お二人ともお若い方で、子供さんと共に農園に興味を持っていただいているようです。農園の仲間を通じてその他の里山の活動にも参加してもらいたいです。

●同志社大学ボランティア農園実習と見学 1月9日（土）

同志社大学ボランティア支援室の竹村さんと学生スタッフ5名の6名の方が農園に来られました。ボランティア支援室とは地域の団体や会社と学生ボランティア間の支援をするという組織です。都築くんは京田辺在住ですが、他の方は堺市、東大阪市、枚方市、京都市などから来られています。9時半から、自己紹介等の簡単な開式の後、炭焼き窯の見学へ行き、農園に戻って金田さんからの生き物の話と観察棟の見学をしてから作業開始。作業は3人ずつに別れて、野菜の収穫と販売のための下準備、木津川堤防から運んできた草の焼却をしてもらいました。11時半には一応作業終了して感想を聞くと、「野菜収穫を自分でして、冷たい中で農家の人は大変な作業をしているのだと感じた。」「草の焼却をして、燃やし方にもいろいろ工夫が必要だと教えてもらった。」などと言っておられました。



●恒例の団地朝市が1月10日に開催されました。スタッフは吉村さん、篠原さん、大村さんでした。この日は寒い日だったのでお客さんは少なく少し残念でした。農園作業は玉ねぎの追肥など1月9日（土）にも行っていました。お疲れ様です。



●昨年 12 月 26 日に行われた冬の昆虫観察会およびしめ縄作りの参加者から寄せられた感想文を金田さんがまとめて下さいました。掲載します。

- 冬の昆虫観察会としめ縄作りに家族 4 人で参加をさせていただきました。エノキの根元の落ち葉の裏の越冬幼虫を調べました。オオムラサキ、ゴマダラ蝶の幼虫の顔の可愛さに子供以上に萌えました。
- しめ縄作りに参加させていただきました。とてもかわいしいしめ縄が作れました。日本の伝統を子どもに伝えることができて嬉しかったです。
- 予想以上に沢山の幼虫が見つかりびっくりしました。自分たちの目で実物が見られて感動しました。しめ縄も今年初めて完成させることができました。何日にもわたり準備等していただきありがとうございました。
- 幼虫を探すのが大変でしたが楽しかったです。しめ縄は結構作るのが大変だった。
- 大人では見えない世界でしたがすごく楽しかった。小2、オオムラサキを見つけるのが難しかった。年長、オオムラサキかわいかった
- 担当の木には幼虫は見つからなかったですが、沢山見つけた木に探しに行ったら幼虫を見つけられたので楽しかったです。子供たちもいい経験をさせてもらいました。ありがとうございました。
- はじめてゴマダラチョウの幼虫を見つけてうれしかった。
- オオムラサキを2匹見つけることができて嬉しかったです。ゴマダラチョウとの違いも実際の幼虫を見て分かりました。子供も楽しく参加できて満足そうでした。また昆虫イベントがあれば是非参加したいと思います。



●常務理事の山村さんが1月20日に退院が決まりました。よかったですね。
今後は身体を大切にされて、里山の会に復帰して活動していただきたいと思います。